

安全な

おそい！おもたい！つながらない！を解決

テレワークソリューション

政府が推進する「働き方改革」においても、テレワークは重要な位置付けとされています。職場や業務の改善はもとより、通勤の負担やストレス軽減、育児・介護と仕事の両立といった従業員満足度の向上だけでなく、今や **感染症や災害発生時のBCP対策**として、企業や団体におけるテレワーク環境の必要性は、これまでにないほど高まっています。

テレワーク導入に関して、お困りではありませんか？

セキュリティが心配！コストが高い！ せっかく導入したのに操作性が重い！！

日本企業がテレワークを導入する際の3大お困りごとを解決！

1

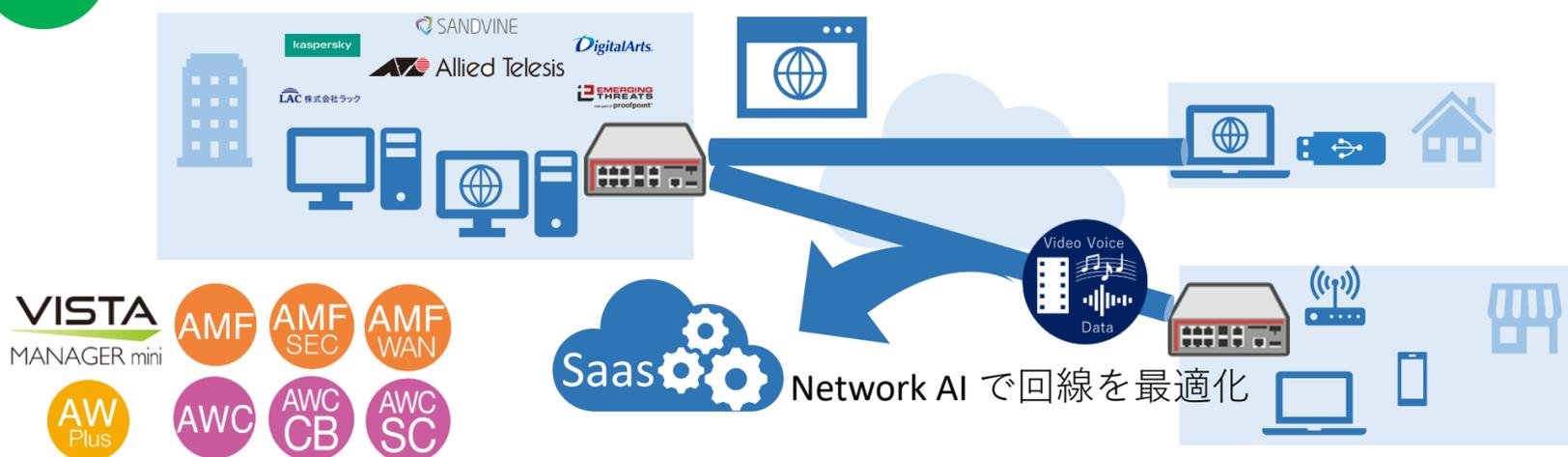
IoTデバイスもセキュアな接続を実現！VPN装置 + mono Pack

既存資産を活かしつつ手軽にシンプル、低コスト！

2

3

回線混雑を回避！国内メーカーだからできる、日本のネットワークに最適化されたWAN接続



導入するなら今！助成金があります

テレワークコース ▶ 申請：2020年12月1日まで

対象事業主：テレワークを新規で導入する中小企業事業主

支給対象：テレワーク用通信機器の導入・運用

※シンクライアント端末（パソコン等）の購入費用は対象であるが、シンクライアント以外のパソコン、タブレット、スマートフォンの購入費用は支給対象外

当社のテレワークソリューションは補助金対象範囲です※

テレワークに必要な **3** つの設備

1 インターネット回線

アライド光

NTT回線 + ISP + ゲートウェイ機器
※お客様の既設の回線のご利用も可能です。

アライドテレシスのARルーターは 国内VNE事業者対応

外資系メーカーのルーターをご利用の場合でも
VNE接続メディコンとしてARシリーズを導入可

2 VPN装置

端末接続数10~100台

AR1050V
AR2050V



端末接続数100~1,000台

AR3050S
AR4050S



規模や用途に合わせて選択できます！

3 テレワーク用端末

USBタイプのシンクライアント

monoPack



自宅のPCをシンクライアント化する、
"mono Pack" でコストダウン。

VPNクライアントソフト

OPENVPN

世界で最も使われているセキュア
なVPNクライアントの一つ。
フリーライセンスでマルチOS対応。

アライドテレシスが選ばれる理由

外資系メーカーがサポートしない、国内VNE事業者との接続！

従来のIPv4網を使用したPPPoE接続は接続数が増えると網終端装置で輻輳が発生し通信が不安定になりテレワークの操作性が落ちます。IPoEは高速・大容量のNTT-NGNを利用し通信しているため輻輳の発生リスクが低く安定しています。

国内VNE事業者	サービス名
(株)朝日ネット	IPv4 over IPv6サービス
インターネットマルチフィード(株)	transix IPv4接続
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	OCNバーチャルコネクティブサービス
日本ネットワークイネイブラー(株)	v6プラス
ビッグロブ(株)	IPv6オプション

※"v6プラス"は、日本ネットワークイネイブラー株式会社の登録商標（または商標）です。

自身がWeb会議を利用してなくとも通信が不安定になる事象を解決！

社内のどこかでWeb会議を開始すればWAN回線を圧迫し他の通信も影響します。Web会議などのアプリケーションを自動判別しWAN回線を最適化し快適なインターネットアクセス環境を維持することができます。

VPN装置だけではなく、テレワーク用端末向けにVPNクライアントも提供可能！

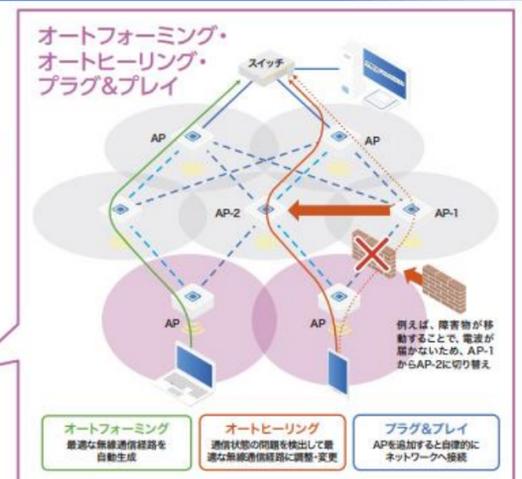
VPN装置としてARシリーズがあれば、「リモートデスクトップ方式」、「仮想デスクトップ方式」、「持ち帰り方式」のいずれにも対応可能。もちろん、VPNに対応したテレワーク用端末の構築も可能です。

VPNクライアント	特長
OpenVPN	Win/iOS/Android/MACのマルチOS対応
Windows10※	Windows10標準搭載
iOS※	iOS標準搭載
Android※	Android標準搭載
monoPack	自宅PCをシンクライアント化。

※標準OS搭載のVPNクライアントはファームウェア Ver.5.5.0-2にて動作確認済みになります。Ver.5.5.0-2は2020年12月より弊社ホームページよりダウンロード開始予定。

ネットワーク規模や拠点数に応じて選べる豊富な製品ラインナップとソリューション

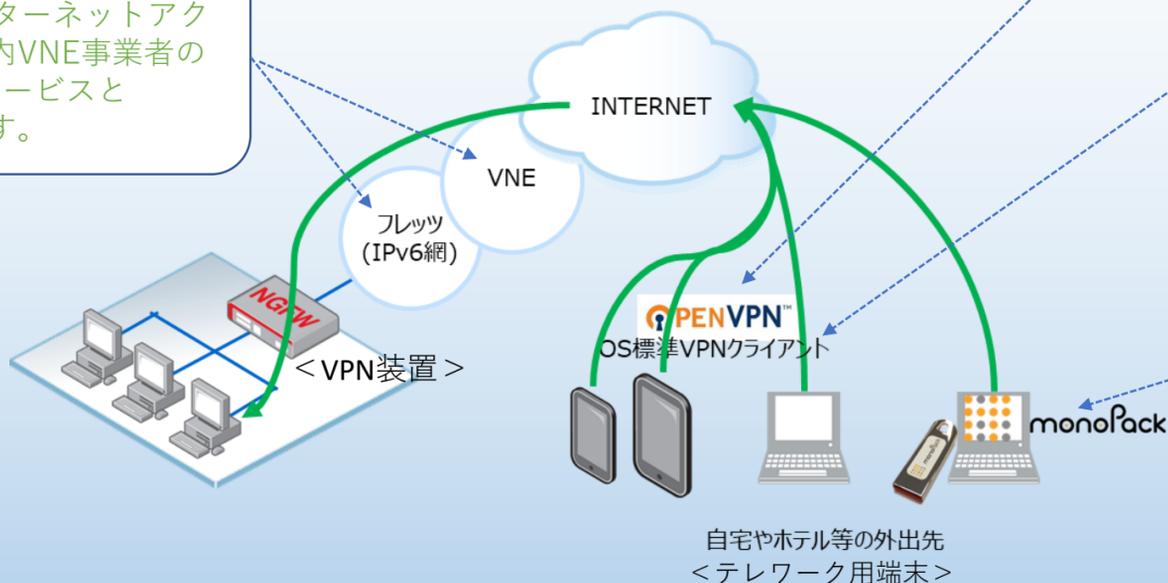
管理者にうれしい！自律型無線LAN接続も提供！



Case1: SOHO/SOBOインターネットアクセス

- AR1050Vを使用したインターネットアクセス
- IPoEによる高速インターネットアクセス
- 自宅からオフィスにアクセスしてテレワーク

ポイント1
IPoEで高速インターネットアクセスを実現。国内VNE事業者のIPv4 over IPv6サービスと動作検証済みです。



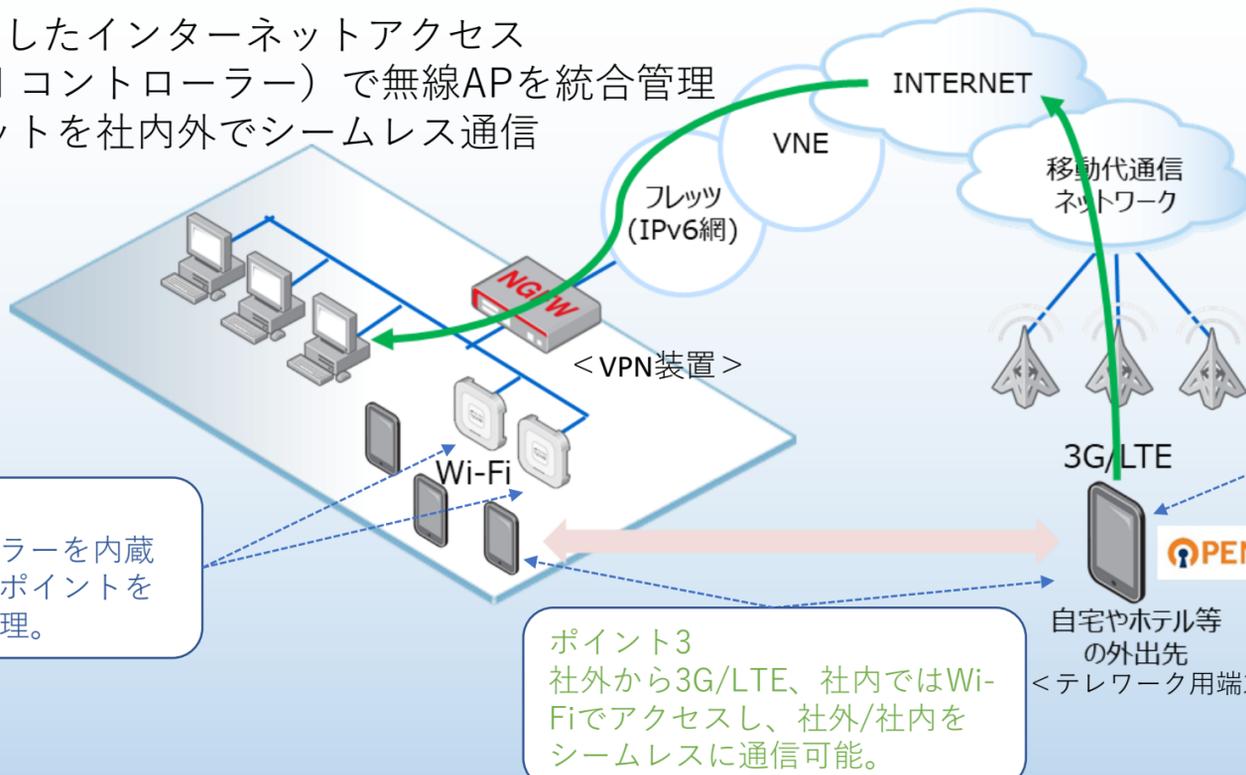
ポイント2
外出先からオフィスのPCにリモートデスクトップでアクセス。世界中で最も利用されているVPNクライアントソフトの一つ"OpenVPN"と動作検証済み。

ポイント3
Windows、iOS、Androidに搭載している標準VPNクライアントソフトに対応予定。

ポイント4
USBブート型のシンクライアント製品「monoPack」。お使いのPCに「monoPack」挿すだけで、誰でも簡単に社内のシンクライアント環境へ接続が可能です。

Case2: 中小規模インターネットアクセス

- AR2050Vを使用したインターネットアクセス
- AWC（無線LANコントローラー）で無線APを統合管理
- スマホ/タブレットを社内外でシームレス通信



ポイント1
無線LANコントローラーを内蔵し無線LANアクセスポイントをルーターから統合管理。

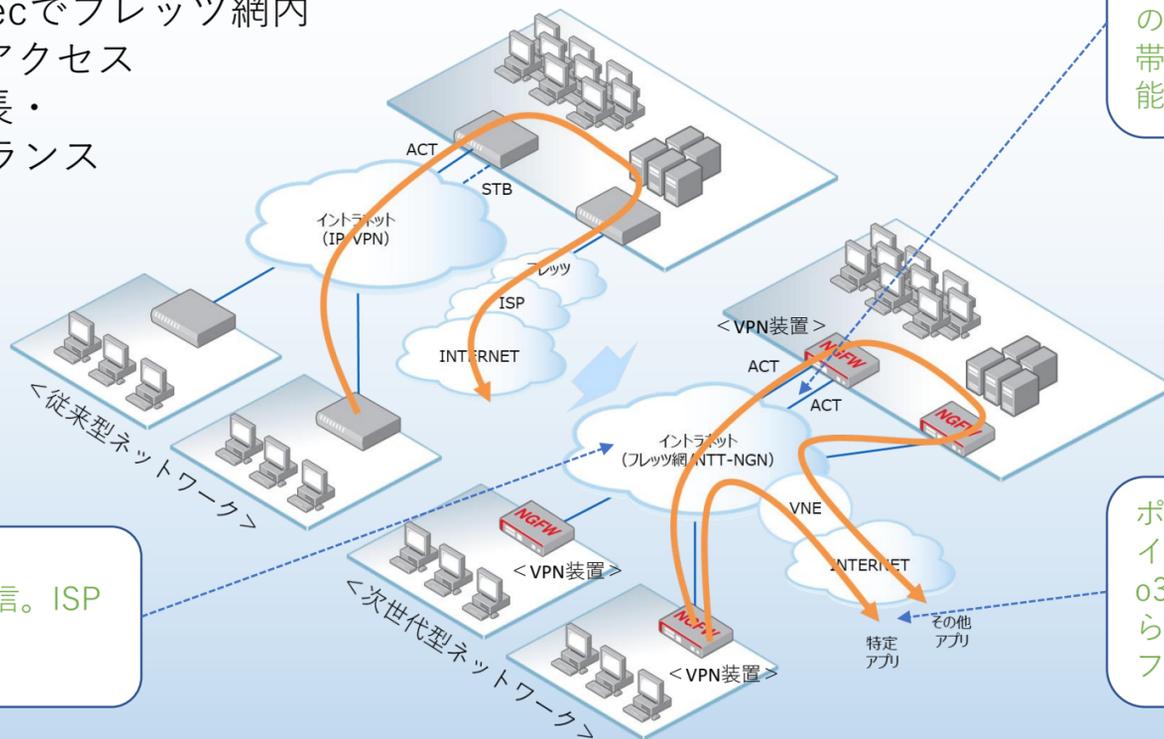
ポイント2
OpenVPNでリモートアクセス。外出先からRDPで社内PCにアクセス。

ポイント3
社外から3G/LTE、社内ではWi-Fiでアクセスし、社外/社内をシームレスに通信可能。

自宅やホテル等の外出先
<テレワーク用端末>

Case3: 中小規模イントラネット/インターネットアクセス

- AR2050Vでo365をインターネットブレイクアウト
- IPv4 over IPv6 IPsecでフレッツ網内折返し通信で高速アクセス
- センター回線の冗長・SD-WANロードバランス



ポイント1
NTT-NGN網内折返し通信。ISPレスで高速・セキュアなイントラネットを構築。

ポイント2
WAN回線2本をACTIVE/ACTIVEの冗長構成。通常時は2回線分の帯域を使用しつつ回線冗長が可能。

ポイント3
インターネットブレイクアウト。o365等の特定アプリだけ拠点から直接接続しセンター側のトラフィックを削減。

機器選定

AR4050S

AR3050S

AR2050V

AR1050V

テレワーク用端末は何台導入しますか？

1,000台まで

100台まで

20台まで

セキュリティ対策はどこまで実施しますか？

強固なファイアウォール
+UTM

強固なファイアウォール

無線LANを導入する予定はありますか？

AP25台まで

AP5台まで

インターネットブレイクアウトをしますか？

複数アプリ

o365のみ



AR4050S



AR3050S



AR2050V



AR1050V

ハードウェア性能が機器毎に異なりますので、テレワーク用端末の必要台数に適した機器をお選びください。

ARシリーズはゾーンベースの強固なファイアウォールを搭載しております。さらなる安全のためにアンチウィルスなどのUTM機能もごさいます。

自律型無線LANソリューションAWC(無線LANコントローラ)を搭載。アクセスポイント5台までは標準で管理可能です。

センター側のトラフィックを分散し低減させることが可能です。o365専用到低減できる他DPIベースで判別・振分けが可能です。

OS標準
VPNクライアント

OpenVPN

mono Pack

テレワーク用端末はどのように調達しますか？

テレワーク専用PCを調達する

自宅のPCを使う

テレワーク用端末はどのような物を使用しますか？

PCなど
特定端末のみ

PCやスマホなど
複数端末使用

PCにインストールされているOSは何ですか？

Windows,
iOS, Android

MAC OS



VPNクライアント選定

盗難等を考慮すると持出専用端末を用意する必要があります。予算が無い場合はmono Packを使えば自宅のPCをテレワーク用端末として使用できます。

PCやスマホなど複数種類の端末を使用する場合はOpenVPNがおすすめ。マルチOS対応なので設定・管理を統一できます。

Windows10、iOS、Androidは標準でVPNクライアントが搭載されております。インストールの手間が省け設定のみでご利用いただけます。MAC OSであればOpenVPNをご利用ください。

※標準OS搭載のVPNクライアントはファームウェア Ver.5.5.0-2にて動作確認済みになります。Ver.5.5.0-2は2020年12月より弊社ホームページよりダウンロード開始予定。